

第1学年 生活科学学習指導案

令和4年10月20日(木)4限

場所：治田小学校1年生教室

指導者 学級担任 (T1)

栄養教諭 (T2)

1、題材 「給食ができるまで」

2、本時の指導

(1) ねらい

毎日食べている給食が、誰によってどのように作られて自分の元にやってくるの
かを知る。また、給食作りには多くの人がかかわっていることを知り、感謝の気持ち
を持って、残さず食べる努力ができるようになる。

(2) 食に関する指導の観点

- ・給食への関心を持つ。〈食事の重要性〉
- ・地元でとれたものが給食に使われていることを知る。〈感謝の心〉
- ・給食にかかわる人に感謝の気持ちを持つ。 〈感謝の心〉
- ・給食を残さず食べようという意欲を持つ。 〈食事の重要性〉

(3) 指導の展開(45分)

時間	学習活動	指導上の留意点	資料等、備考
導入 5分	1.本時の学習内容を知る 2.以前給食室を見学した時のことを思い出す。	○今日の学習内容について説明する。 (T1) ○給食室を見学してきたときのことを思い出させる。 ・教えてもらったことについて覚えていることを発表させる。	電子黒板 給食室の写真
かだい きゅうしょくができるまでをしろう			
展開 25分	3.給食を作っている時の写真や道具、給食で出てくる食品のできる様子を見て知識を深める。 4.給食には給食にかかわる人の気持ちや元気のもとが詰まっていることを知らせる。	○写真やクイズを通し、給食に関する知識を深めさせる。(T2) ・給食にかかわる人や給食を作る道具などを知らせる。 ・市内の生産者の店内や加工の様子、メッセージを見てもらい地場産物が給食に使われていることを知らせる。 ・写真を見ることで、多くの給食を作る大変さに気づかせる。 ○様々な人が力を合わせておいしい給食ができあがること、身近な給食先生＝調理員さんにとっては食缶が空になって戻ってくるのが喜びであることを知らせる。	写真 PP 道具

	5.今日の給食に何が出てくるのか知る。	○今日の給食に何が使われているかを説明する。(T2)	
まとめ 15分	6.給食に関わる人へ感謝の気持ちを伝えるためにお手紙や絵を書く。	○文章や絵で給食に関わる人に感謝を伝えることを知らせる。 ・今日の給食を食べるときの意欲につなげる (T1)	ワークシート

(4) 評価

- ・ 給食への関心を持つことができたか。
- ・ 地元でとれたものが給食に使われていることを知ることができたか。
- ・ 給食にかかわる人に感謝の気持ちを持つことができたか。
- ・ 給食を残さず食べようという意欲を持つことができたか。

(5) 板書計画

かだい：きゅうしょくができるまでをしろ
<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 30%;"> <p>きゅうしょくをつくるには</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>きょうのきゅうしょく</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>いろんな人にかんしゃのきもち をつたえよう</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>きょうのたべもの</p> </div>